

出水神社

水前寺成趣園の北西角にあるこの神社は、西南戦争で熊本市の広い範囲が焼失した翌年の 1878 年に創建されました。西南戦争で焼け野原となった街を復興させようと、旧熊本藩の家臣らは、240 年以上にわたって地域の平和と繁栄を支えてきた細川家を祀った神社を創建したのです。

ここに祀られている主神は、藩祖・細川藤孝（1534-1610）、その息子・細川忠興（1563-1646）、その孫で熊本藩の細川家初代藩主・細川忠利（1586-1641）、そして細川重方（1721-1785）の霊です。配神は、細川守久（1839-1893）までの 11 代に加え、忠興のキリシタンの妻である細川ガラシャの霊を祀っています。この庭園は、細川家ゆかりの地であることから、神社の敷地に選ばれました。

阿蘇山が水源の伏流による「長寿の水」で手を洗うための石盛「手水舎」や、もともと 17 世紀前半に細川忠利の盆栽であったバロック風の形をした松の木は見逃せません。2016 年の地震では、神社の 3 つの石造りの鳥居のうち 1 つが倒壊し、2 つに亀裂が生じました。池のほとりの鳥居は木造で再建されました。